

令和8年 イカナゴ情報

令和8年3月4日発行
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部（村上）
 TEL：0193（26）7915
 FAX：0193（26）7920
 E-mail：CE0012@pref.iwate.jp

2月13日、17日に漁業指導調査船「北上丸」にてイカナゴ仔稚魚調査を行いましたので、結果の概要をお知らせします。

令和8年のイカナゴ仔稚魚（コウナゴ）の分布密度は、前年と同様に低水準。

1 令和8年漁期前のイカナゴ仔稚魚分布密度調査結果

県南、県北の調査定点（図1, 3）において、水深15mを仔稚魚採集用のネットで曳網しました。

県北海域8定点の平均分布密度は0.18尾/100m³（前年0.05尾/100m³）、県南海域8定点の平均分布密度は0.04尾/100m³（前年0.34/100m³）と、県北海域では前年を上回り、県南海域では前年を下回りました（図2, 4）。両海域とも令和4年以降、分布密度は低水準が続いています。

また、県北海域ではスケトウダラの子稚魚が多数採取されました。

《県北海域の調査結果》

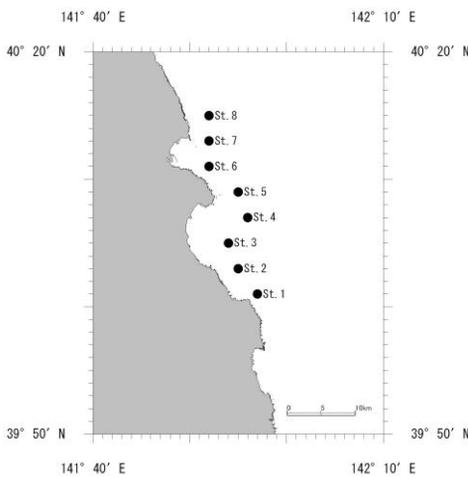


図1 調査定点

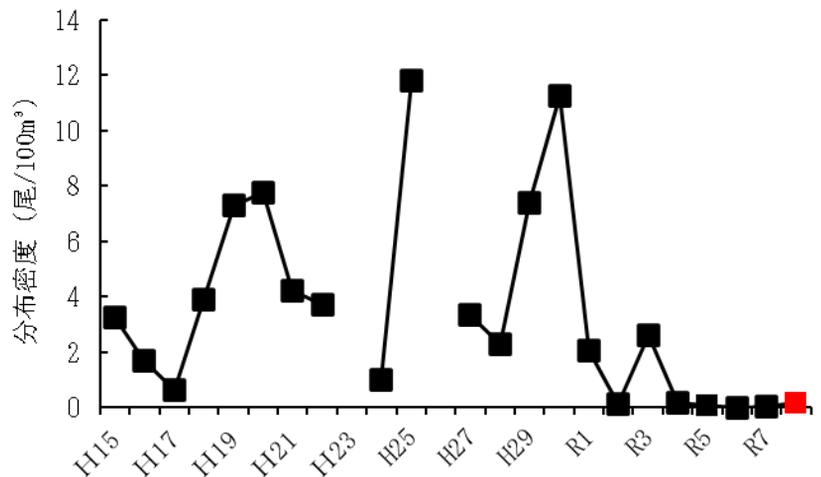


図2 分布密度

調査年月日	調査地点 (No.)	緯度 (N)	経度 (E)	開始時刻	終了時刻	表面水温 (°C)	イカナゴ分布密度 尾/100m ³	採集魚類(個体数)									
								イカナゴ	スケウ	マダラ	マコカレイ	ホッケ	アイナメ	キンボ類	カジカ類	不明	その他
R8.2.13	1	40° -00.88	141° -57.02	11:19	11:29	8.1	0.33	1	41	1							
R8.2.13	2	40° -03.06	141° -55.29	11:52	12:02	9.1	0.00		6				1				1
R8.2.13	3	40° -05.05	141° -54.19	12:24	12:34	9.0	0.00		37	4			1				2
R8.2.13	4	40° -06.94	141° -55.94	12:48	12:58	7.9	0.00		17								
R8.2.13	5	40° -08.99	141° -54.99	13:12	13:22	8.0	0.00		15		1	1	1				1
R8.2.13	6	40° -11.04	141° -52.00	13:49	13:59	7.5	0.00		3			4					1
R8.2.13	7	40° -12.95	141° -52.02	14:20	14:30	7.5	0.36	1	41			2					1
R8.2.13	8	40° -15.06	141° -52.06	14:47	14:57	7.9	0.71	2	58								1

表1 稚仔魚調査結果

《県南海域の調査結果》

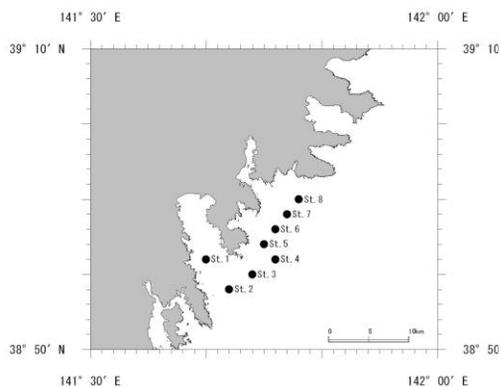


図3 調査地点

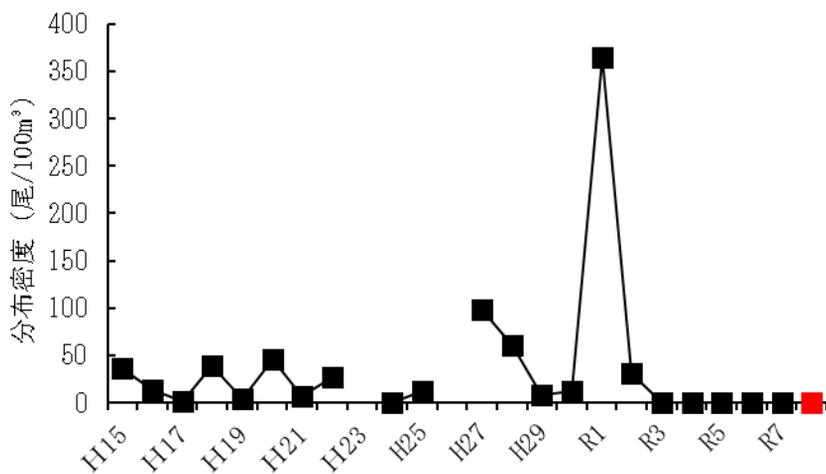


図4 分布密度

調査年月日	調査地点 (No.)	緯度 (N)	経度 (E)	開始時刻	終了時刻	表面水温 (°C)	イカナゴ分布密度 (尾/100m³)	採集魚類 (個体数)											
								イカナゴ	スケウ	マダラ	マコガレイ	ホッケ	アイナメ	ギンボ類	カンカ類	不明	その他		
R8.2.17	8	38° -59.95	141° -48.00	8:41	8:51	7.8	0.00		7					1					11
R8.2.17	7	38° -58.98	141° -47.03	9:00	9:10	8.0	0.00		7	1	4								3
R8.2.17	6	38° -57.92	141° -46.11	9:25	9:35	7.9	0.00		3	2	1							1	10
R8.2.17	5	38° -56.99	141° -45.13	9:55	10:05	8.1	0.00		4	1									
R8.2.17	4	38° -55.93	141° -46.01	10:13	10:23	7.8	0.28	1	1	1	1								1
R8.2.17	3	38° -54.97	141° -44.02	10:36	10:46	8.1	0.00												1
R8.2.17	2	38° -53.91	141° -42.05	11:06	11:16	8.2	0.00				1			1					1
R8.2.17	1	38° -56.03	141° -40.07	11:49	11:59	7.7	0.00		2									3	4

表2 稚仔魚調査結果

2 令和7年までの漁況

令和7年のイカナゴの主要5港（大船渡、釜石、山田、宮古、久慈）における水揚量は5.6トンでした。県内水揚量は令和2年以降低水準が続いています。

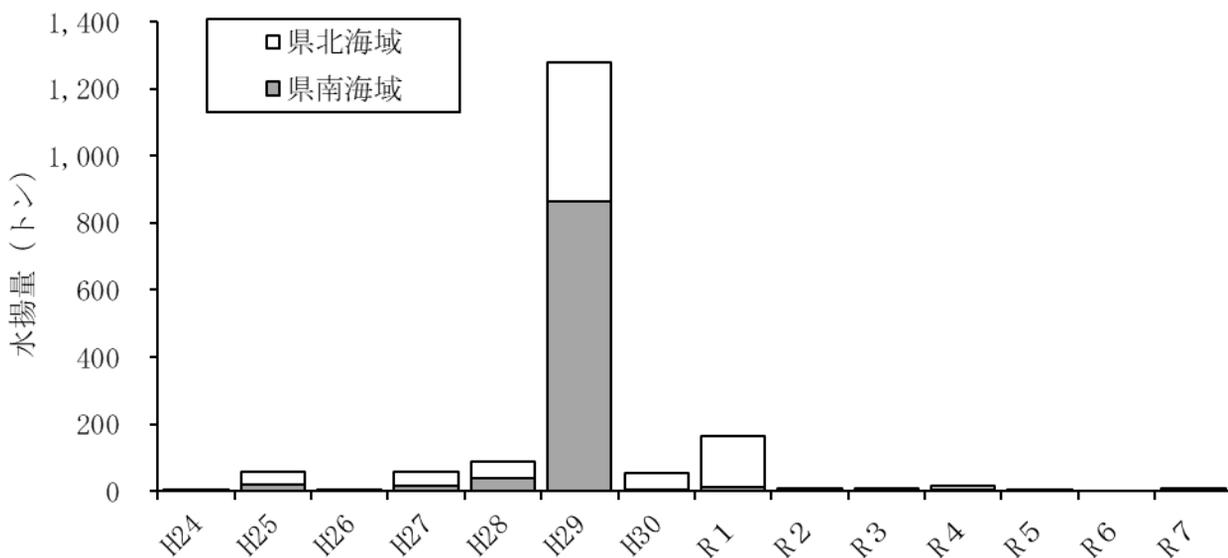


図5 イカナゴの水揚量の推移